

IFCA&CYCトレーニング

7月の全国MTで発表

社会活動入門

(Campaigning Development 201)

- 目的…明確な勝利につながる要求内容を作成し、それが達成されるような戦略を練る
- レッスン…全3回(2021年1月 2021年4月3日 2021年4月23日)
- 学習目的…
 - 1) 深い根本原因分析を行うことで、ビジョンを明確にする
 - 2) 地域に根ざした具体的な要求内容を作成し、根本原因に対処するための戦略の立て方を学ぶ
 - 3) 仲間や友人をまとめ、上司に対して、私たちが求めるものを与えさせるための戦略を練る。

レッスン1 (2021/1)

➤ 今回のレクチャーのポイント

- 社会運動の6つのステップの確認
- 根本原因の分析→「根本原因の木」
- IFCAで決めた「取り組むべき問題」

①ユース参画 ②メンタルヘルス

社会運動の6つのステップ

1. 変えたい問題点を明確にする
2. その問題の根本原因を理解する
3. 適切かつ勝利するための一連の要求を掲げる
4. 勝利のための戦略を練る
5. キャンペーンの実施
6. 評価

根本原因の分析 (Root Cause Analysis)

根本原因の分析のためのテンプレート ROOT CAUSE ANALYSIS TEMPLATE

Symptoms Here

What do you see happening as a result of the problem, these are results or outcomes.

Capture those here.

症状

問題の結果としてどのようなことが起こっているのが見られるか、それが結果(アウトカム)です。これをつかみましょう。



Vision Here

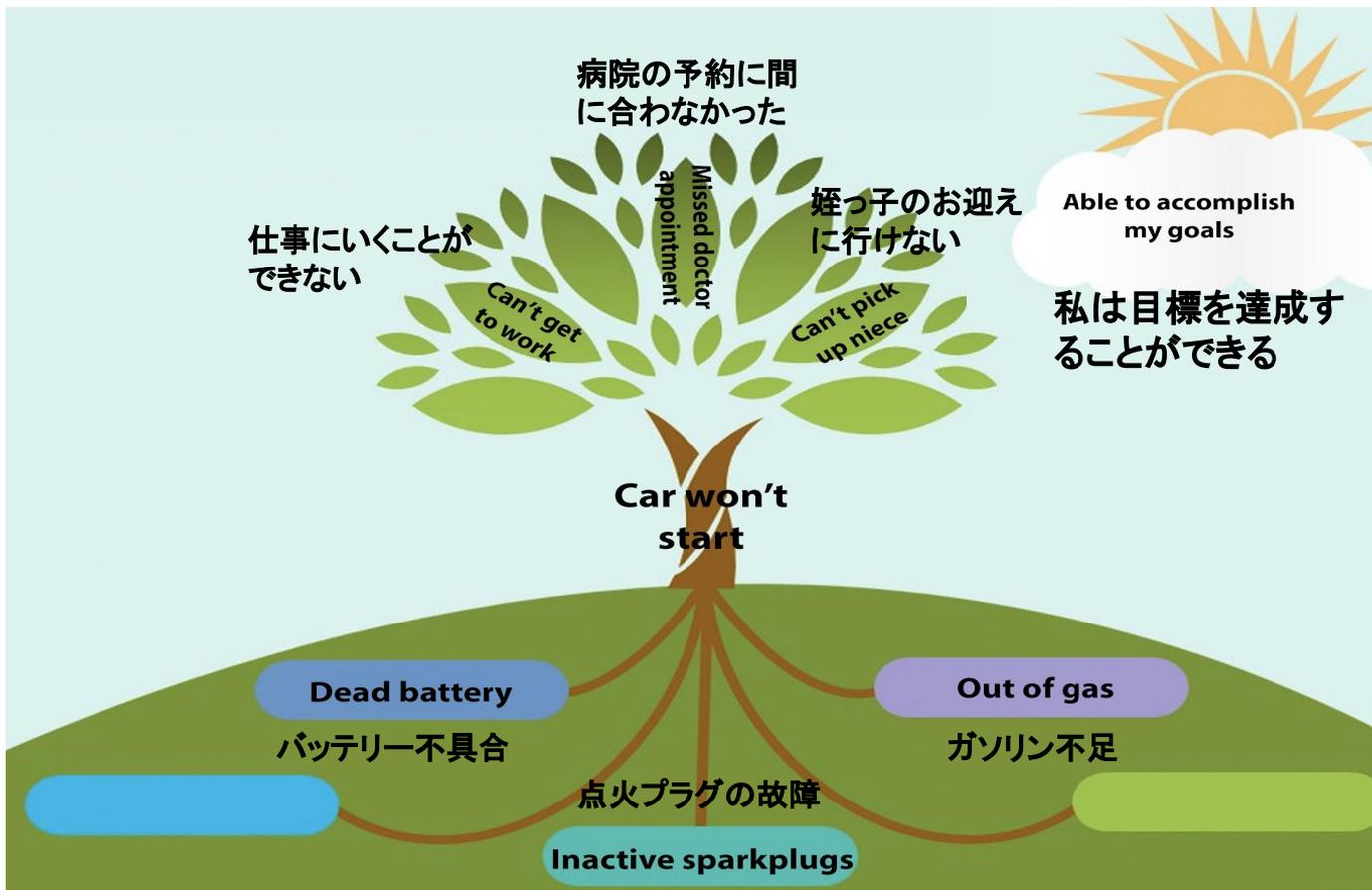
As you're identifying root causes you may also have some ideas about what you think should happen. Make sure you're capturing those ideas!

ここがビジョン

根本原因を特定するにつれて、どうすれば良いのかが見えてくるでしょう。そのアイデアを確実に確かみましょう！



根本原因の木（自動車故障の例）



10のメンタルヘルスビジョンのポイント

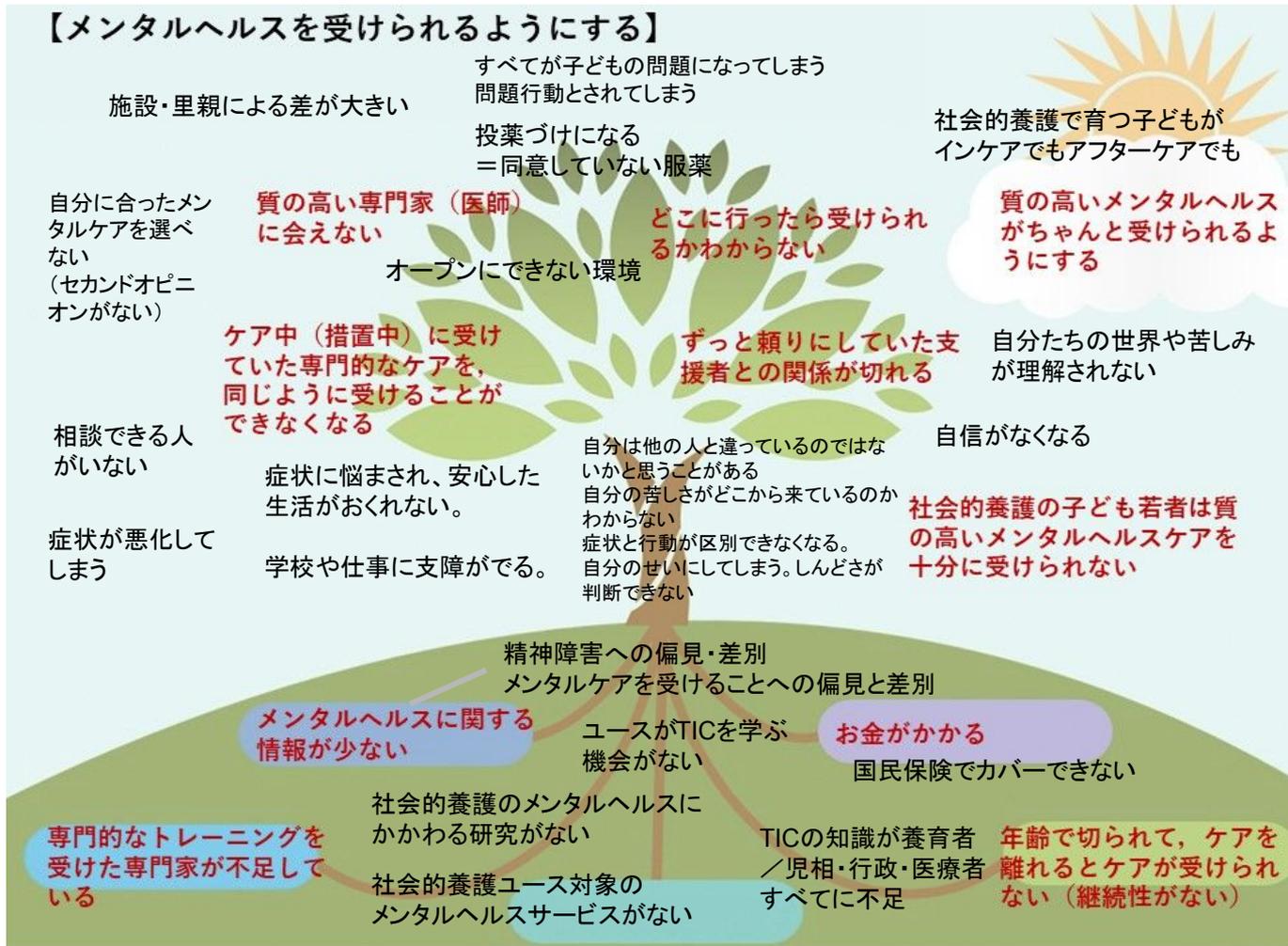
1. 私たちはメンタルヘルスのセラピストと『真のつながり』を持ちたい。
2. 自分が住む地域で、利用できるメンタルヘルスのプログラムについて情報を得たい。
3. 自分が受けたいメンタルヘルスの治療について意見を言う権利を持ってほしい。受診したくない治療を強要しないでほしい。
4. 向精神剤や「トークセラピー」などに変わる治療法やホリスティック(総括的なアプローチ)の治療法へのサービスも受けられるようにしてほしい。
5. 社会的養護の下で生活する児童や若者たちが向精神剤の過剰投薬の犠牲になっている現状をただちに解決してほしい。
6. FURS の解説に基づいて、911(110番)ではなく、ユースが、メンタルヘルスの専門職と話せるホットラインの電話番号を特設してほしい。
7. 社会的養護の下で生活する児童や若者たちが、メンタルヘルスのサービスを受けるために、誤診を受けている状況を改善してほしい。精神衛生のサービスを受けるには、診断を必要とする、という EPSDT という連邦政府のシステムが、この原因になっている。
8. 社会的養護の下で生活する児童や若者たちのセルフケアや精神衛生のサービスが、義務なので行っていると言う、政策を取り除いてほしい。
9. 医療サービスを与える人たちが対応できないほどの数のケースを抱えたまま、ユースのケアにあたることをやめてほしい。
10. 公的な医療保険の範囲では受けることのできない特別な治療法についても、アクセスがあるようにしてほしい。

「10のメンタルヘルスビジョンのポイント」はどのように作成されたのか

- 根本原因考える為に情報収集を行い、ユースからも情報を集めた
- メンタルヘルスに関わっている重要人物を特定して、現在の問題の明確化を進めた
- 情報収集をした後、再度委員会で話し合い分析を進めて問題と根本原因を特定
- 問題と共に逆に今機能している、成功しているシステムは何かも考えた
- ユースからケアにいる間にメンタルヘルスのサービスが受けられるとしたらどんなサービスが良いか声を集めた
- そういった作業を経て大きな問題として
 - ・メンタルヘルスへのアクセスのしにくさ
 - ・ユースに対して過度な診断がされる、また逆に必要な診断がされない
 - ・金銭面の問題 etc...
- 明確化した問題、根本原因をまとめて「10のメンタルヘルスビジョンのポイント」は作成された

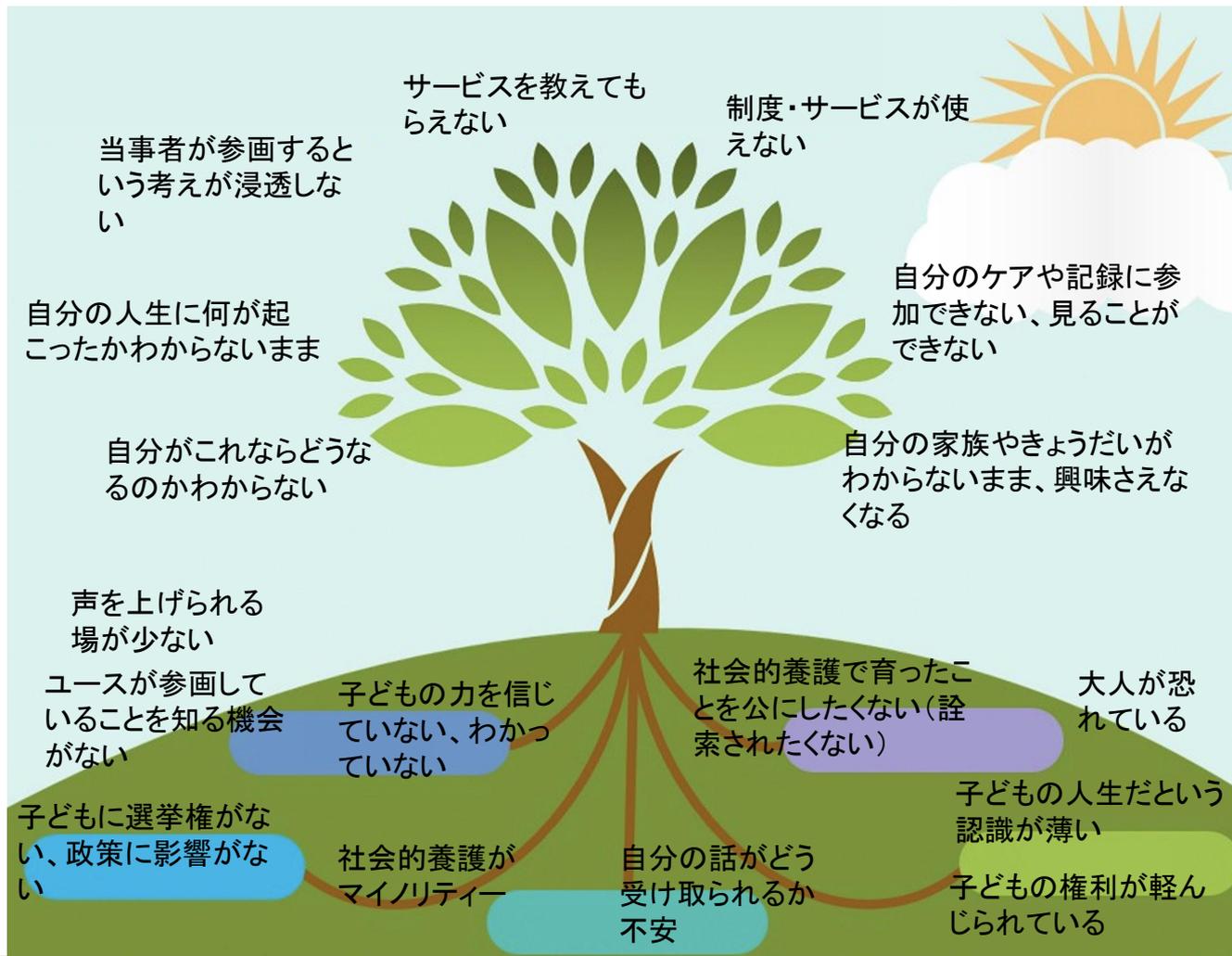
IFCAで作成した 根本原因の木

グループ① メンタルヘルス



IFCAで作成した 根本原因の木

グループ② ユース参画



レッスン2 (2021/4/3)

➤ 今回のレクチャーのポイント

- 社会運動の6つのステップの確認
- 要求を掲げることについて
- グループワーク(要求について話し合う)
- 社会的活動における戦略

仲間・協力者・力を持った人・求めるもの(成果物)を明確にする

2021年4月3日分(布施)

グループ1のブレイクアウトルームの話し合いのシェア

メンタルヘルスは身体の健康と同じで、損なわれると生活の基盤が崩れる

メンタルヘルスが安定すれば

仕事が続けられる

学業が続けられる

好きなことを見つけられる

どうしてメンタルヘルスが悪い状態にあったのか説明できるようになる。

グループ2のブレイクアウトルームの話し合いのシェア

対等な立場で参加できる

呼んでもらっている、してあげているとうのではなくて、ひとりの専門家として対等な立場で参加できる

当事者の経験が教訓として使われるのではなく、当事者の意見が尊重されて、かつ、その意見がどのように反映されたのか、明確に
してもらうことができるようになる

当事者参画ということの価値を疑われない

当事者参画とはこういうもの、当事者参画はこうじゃなきゃいけない、当事者としての期限を他人から決められない

一個人として価値のある当事者参画ができる

周囲も当事者参画の価値を信じている

真の当事者参画 4404

社会的活動における戦略

戦略とは、仲間や協力者を組織して、力を持った人(ボス)に求めるものを与えさせるための計画です

folks=仲間

friends=協力者

boss=力を持った人

goods=こちらが求めるもの

考える順番

- ① 仲間は誰なのか？ (folks) – IFCAの基盤
- ② 友人・協力者は誰なのか？ (friends) – 同じ理念を持った団体や協力者
- ③ 力を持った人は誰なのか？ (boss) – 権力や決定権を持った人物
(※Boss=Targetターゲットとなる人。団体ではなく、力や決定権を持った個人を特定する。)
- ④ 成果物・求めるものは何なのか？ (goods)

IFCAの2つの要求

MH Demands

メンタルヘルス (MH) 要求

- ケアを離れたあとも継続したメンタルヘルスのサービスが得られるようにすること Make continuous MH services for youth leaving care
- ケアにあたる専門職が Foster Youth ユースについての専門的なトレーニングを受け支援にあたること Require MH providers to receive training on foster youth and how to work with their situation
- メンタルヘルスの重要性を理解してもらい、公の財源を確保すること Promote importance of MH to public to make funding available for youth's mental health

YE Demands

ユース参画 (YE) 要求

- 都道府県ごとの社会的養護推進計画に必ず当事者を入れなければならない法律をつくる。(当事者は2人以上参加で、現役ユースと元ユースのバランスなど考慮する) Create a law that requires the inclusion of foster youths to be members to make foster care promotion plan of each prefecture. (At least two youths should be involved, and the balance between current and former youth should be considered.)
- ユースの声がどう反映されているのか、レポートを義務付ける(半年に1回など) Require reports (e.g., once every six months) on how youth voices are being reflected.

レッスン3 (2021/4/23)

➤ 今回のレクチャーのポイント

- 社会運動の6つのステップの確認
- 要求を掲げることについて
- グループワーク(要求について話し合う)
- 社会的活動における戦略

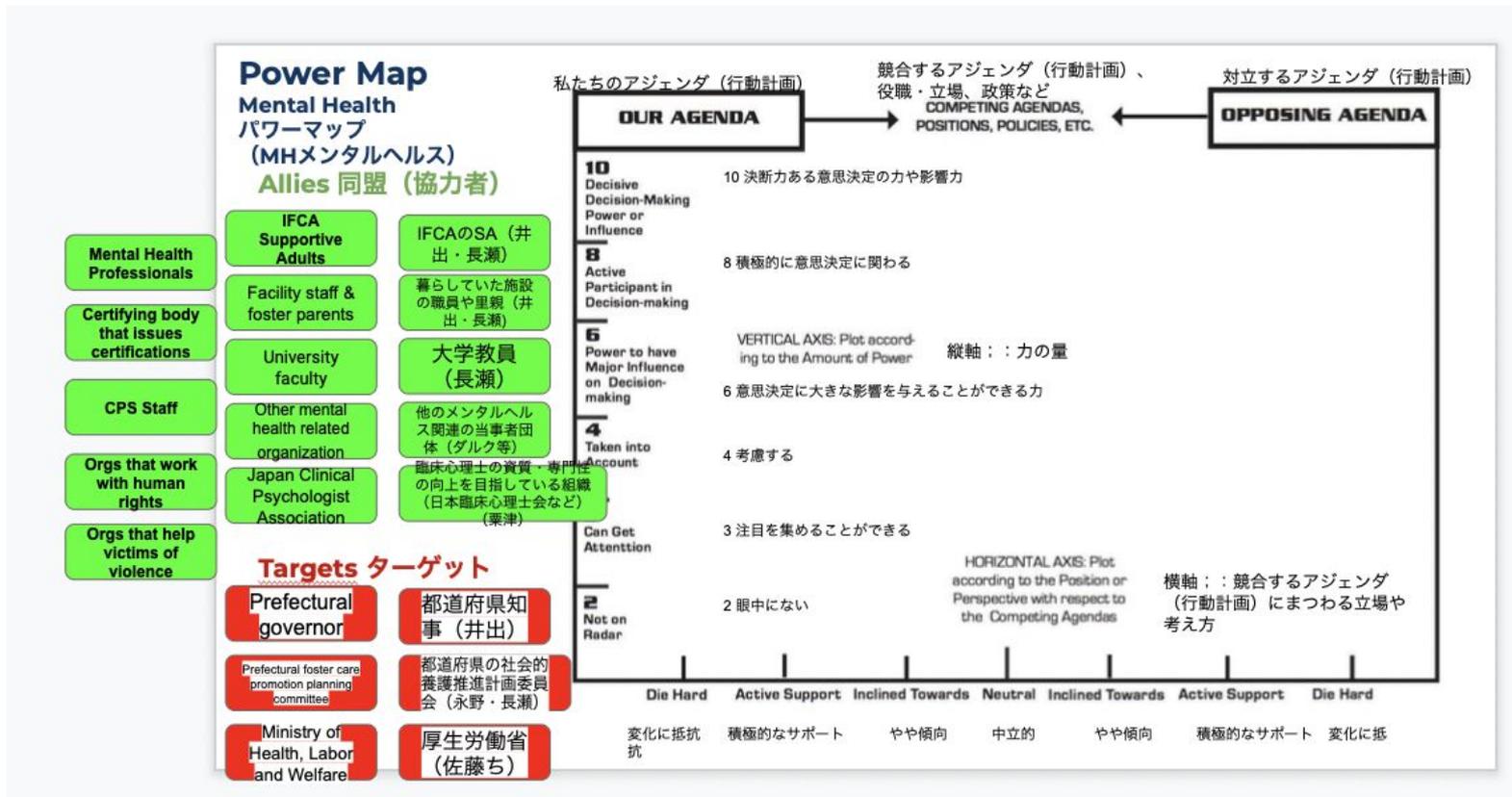
仲間・協力者・力を持った人・求めるもの(成果物)を明確にする

- パワーマッピングと作戦

2021年4月23日分(布施)

パワーマッピングと作戦

<メンタルヘルスサービスの改善についてのパワーマップ>



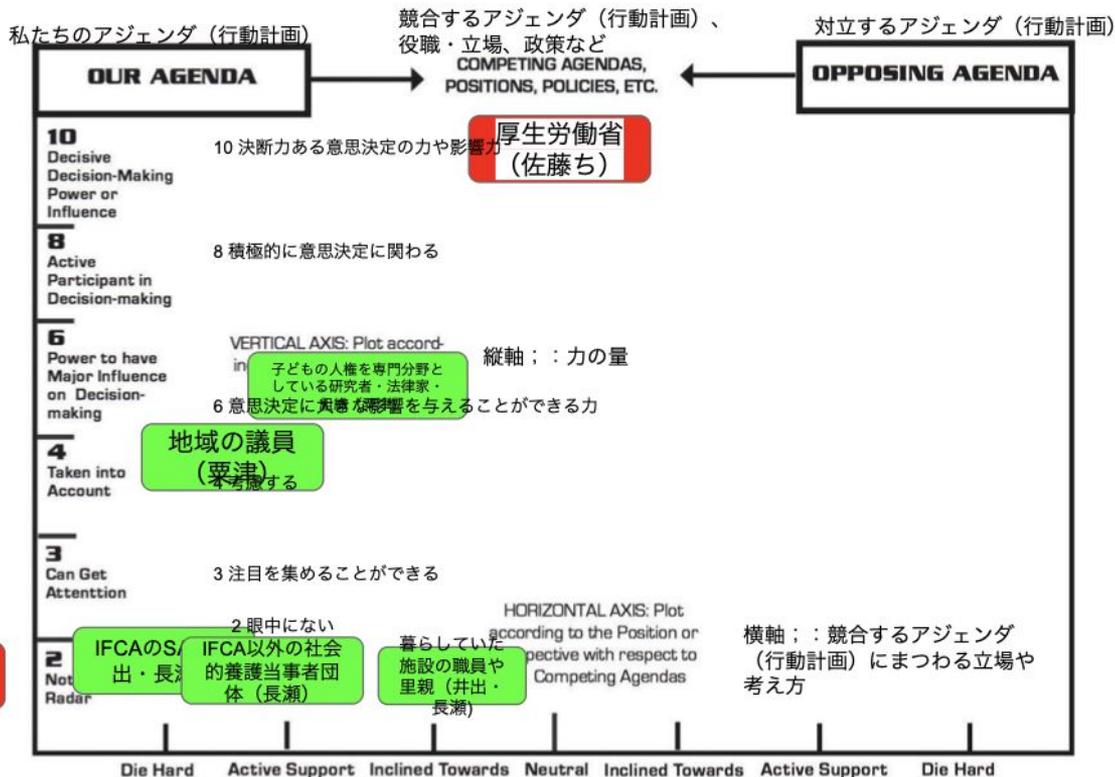
<ユース参画についてのパワーマップ>

Power Map Youth Engagement パワーマップ (YE ユース参画)

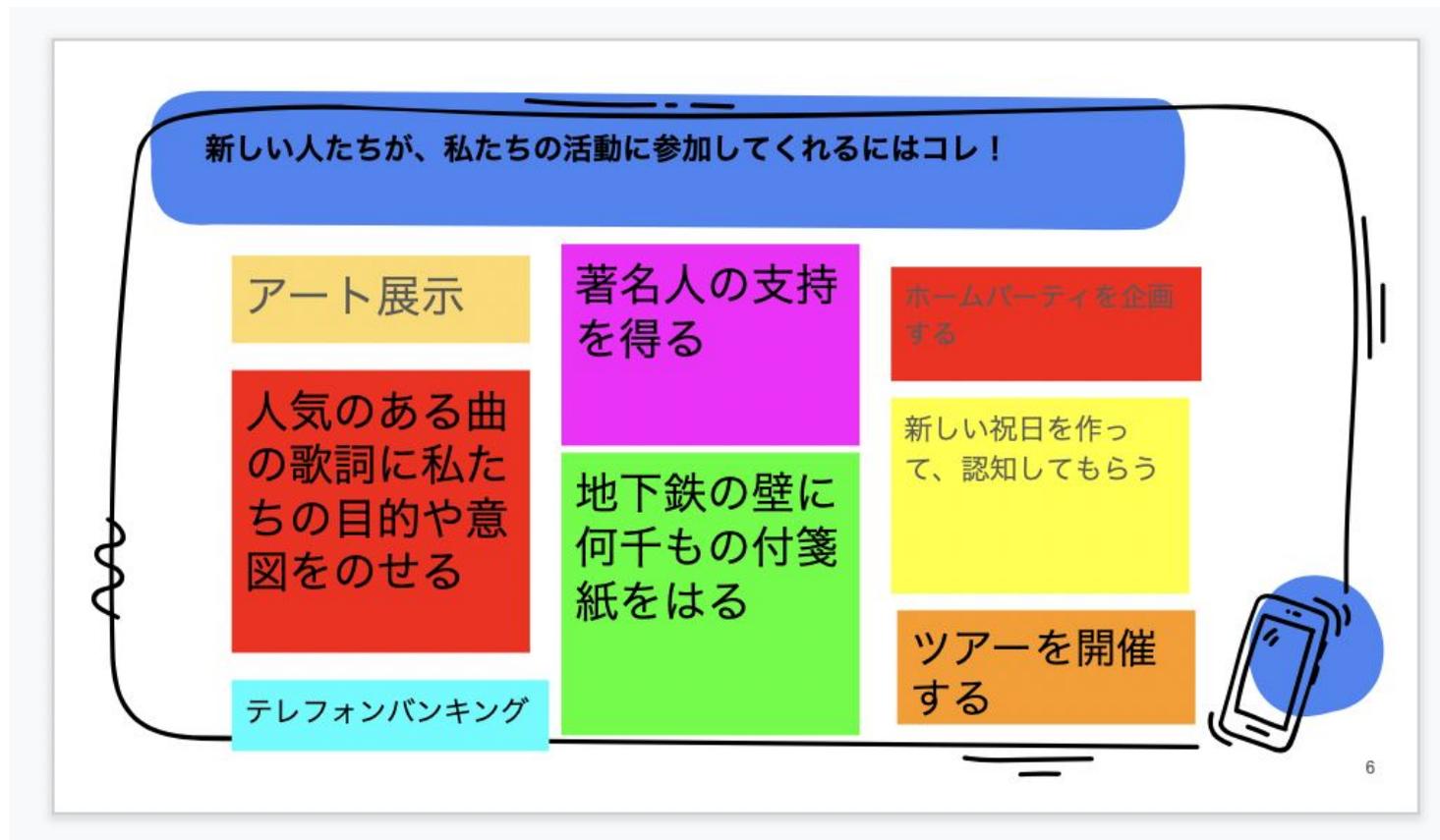
Allies 同盟 (協力者)



Targets ターゲット



その上で...具体的に、協力してくれる人を増やしたり、社会の関心をより集めて、要求を達成するためにどうすれば良いかを話し合う



ターゲットが私たちを無視できなくするにはコレ！

同じ服を着て
イベントに参加
してもらおう

音楽やダンスのサ
ウンドシステムの
設置してアクショ
ンを起こす

ソーシャルメディ
アへの挑戦

オフィスのロ
ビーをデモ参
加者で埋め尽
くす

政府を訴える

運動を超えた連携

政治家の事務
所でメガホン
を使って手紙
を読む

野球の試合で
メッセージ
ボードを出す



4人しかいないのに、何を計画すればいいの？

教育用ウェビ
ナー

建物へ映像を
投影する

私たちの活動をテーマにし
た子ども向けの本を作る

プラカードを
おもちゃに持
たせて『ミニ
抗議』を行う

社会的養護の
若者のパーソ
ナルなストー
リーを集める
て、共有する
プロジェクト
を作る

空の机を道に並
べる

ポッドキャストを始める

新聞への意見
書の提出



オーガナイザー戦術の私のバックパックの中で、リスクがあっても大胆なアイデアとは？

ターゲットのオフィスに潜入

労働者が仕事を放棄

人間の壁
A human blockade

バナードロップ

サボタージュ（意図的に労働効率を下げる）

ダンボールで作られたデモ参加者の像を道路に並べる

権力のある人がいる場所での予定外の音楽演奏

ドキュメンタリーを作る

全員がコスチュームを着て行進する

象徴的な場所でのアクション



作戦を選ぶ時に考慮すること...

1. この作戦は、ターゲットにどのような影響を与え、あなたの要求を満たすことができるでしょうか？
2. この作戦は、IFCAメンバーの力量やリーダーシップを高めるものですか？
3. この作戦を成功させるためには、どのようなリソースが必要で、それはあるのでしょうか？
4. 連絡方法や計画に（コミュニケーションプラン）は？